

ayanoguchiaya

04 “Life costume”

身体をまもり、こころを開放する服。



大自然の中で心が解き放たれたときの心地よい記憶、
それは、毎日の服を選び着る喜びにもつながっている。どちらも私にとって、なくてはならない大事なこと。
だから、できる限り自然にやさしい生地や、何年ものあいだに集めてきた古い生地や材料を使って、
ゆっくり時間をかけてデザインしています。
それが日々に彩りを添えて、こころをおだやかに生きるための大切な何かになることを願って。



04 collection "Life Costume"

ずっと昔から人々に愛されてきた、生活のための体になじむ服。

動くために入ったシワや、余分な布にも意味があり、それが体をまもり、

そして自由にし、こころも開放されていく。

それらは柔らかな素材で、ドレスやブラウスになって、草花のように日々を彩ります。



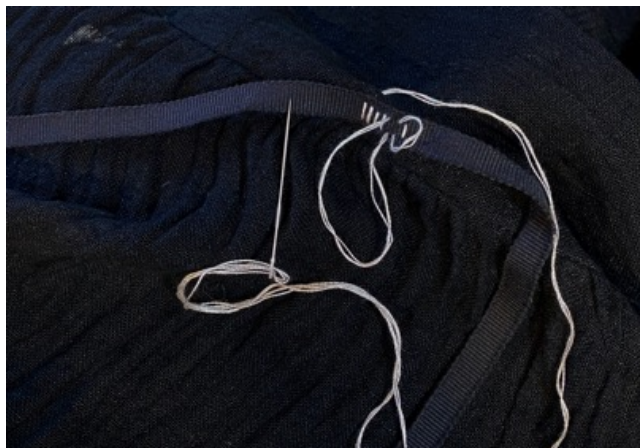
今まで集めてきたたくさんのヴィンテージ、ヨーロッパのギャルソン達が着ていたシャツやジャケット、農民のスモック、日本の野良着のもんぺパンツなど、それらを紐解き、その古い伝統や知恵を大切にしながら、これから本当に欲しい新しい服を考えました。

仕事着の機能的な美しさを守りつつ、土に帰るリネンやオーガニックコットンの柔らかな布をたっぷりと使って、空気をはらませ、ゆったりとした形のなかで身体が自由に動く心地良さと、自然の生地を感じる皮膚感覚も高まるような、やさしい心を取り戻せる服。

色は自然を邪魔しない、ニュートラルな生成り、ピュアな白、全てを包み込む黒、青空のブルーとネイビー。

全てのアイテムには、小さくハンド入れたステッチや、天然の貝のパーツの飾りなどの手しごとを少し。

またアーティストによる手刺繍が施されたスペシャルなアイテムも展開、日々を少しだけ特別なものにしてくれます。



*** 04 collection** では、アーティストやクリエイターとのコラボレーションをさまざまな形で行っています。

今泉敦子：広大な自然の花園をモチーフに描く画家の今泉敦子が近年制作している草花の刺繍ドロ잉を、ayanoguchiaya の服に合わせて一点ずつ施した作品的アイテムを制作しています。 <http://www.atsukoimaizumi.com>



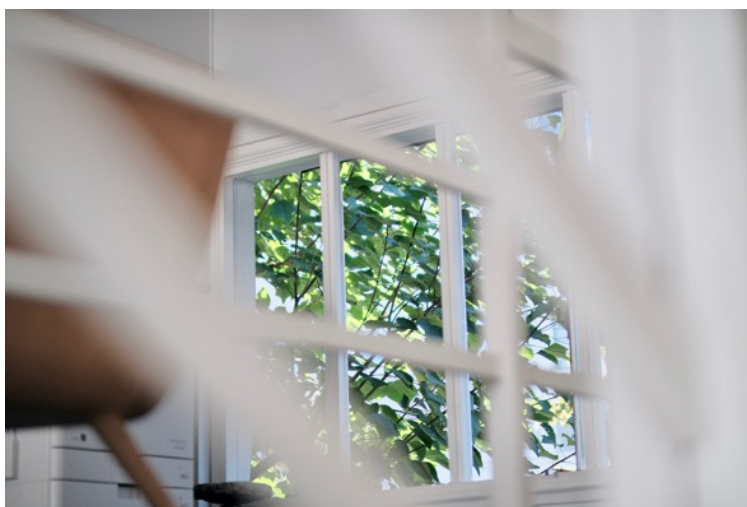
mimosa：花や植物をモチーフにした装飾を手がけるクリエイションチーム mimosa による、ayanoguchiaya のイメージでドレスのような巨大なペーパーフラワーを製作しています。 <https://www.mimosa-design.com>



Sugri : 着用やディスプレイのコーディネートで、クラシックな帽子作りを続ける Sugri のハットとコラボレーション、繊細な手仕事でクラシカルな雰囲気を添えています。 <https://sugri.stores.jp>



*展示会場となるデザイナーの野口が経営するギャラリーは、築約 100 年の日本家屋をリノベーションした古き良き時代の建築物を保管し使用を続けています。今回、事務所だった 2 階部分を野口のアトリエとして改装、会期中はオープンアトリエとしてご覧いただき、より物作りを身近に感じていただけます。



ayanoguchiaya 04 Collection

Life costume

- ・ **Date: 10.12(Tue) — 10.15(Fri): for buyers**
10.13(Wed) — 10.15(Fri): for press
 - ・ **Time: 11:00 — 18:00**
- 10.15(Fri) — 10.17(Sun): for friends**
 - ・ **Time: 13:00 — 18:00**
- ・ **Place: SISON GALLERY**

info@sison.tokyo



ayanoguchiaya のサステイナビリティ

- ・ ブランドネーム等はオーガニックコットン、服の付属などで出た残資材のアップサイクル、下げ札はリサイクル紙を使用しています。
- ・ 毎回のベースの生地には、GOTS(Global Organic Textile Standard)認証取得済オーガニックコットン、もしくは環境に殆ど負担がかからないリネン素材をメインに使用しています。ハンドメイドの材料には、オーガニックコットンの毛糸、またアンティークやビンテージのレースなどと、アップサイクルした端切れ素材等を使用しています。
- ・ 質の高い日本の職人の技術を見直すことと輸送時の CO2 に配慮し縫製はすべて日本製。生地は一部海外製を使用していますが今後できる限り日本製にシフトしていく予定です。
- ・ ほとんどのアイテムが何通りかに着られるなど、長く楽しめる工夫をしたデザインになっています。またパーソナルなカスタマイズにも対応してより無駄なもの作りはしないよう心がけています。
- ・ デザインは布のロス进行最小限にするパターンで平均収率 80%以上となっています。また残生地は小物を作ってノベルティにするなど活用しています。
- ・ 使用する付属類はできる限り脱プラスチックを目指し、ボタンは天然の貝や木から作られる伝統ある奈良県産もの、またヴィンテージパーツのアップサイクルをしています。
- ・ 年に何回か開催する展示会は季節ごとにせず「01」「02」と回数での表記で、年代とシーズンにこだわらずに長く着て欲しいという願いです。
- ・ デザイナーの野口が経営するギャラリー（ayanoguchiaya アトリエ併設）は、築約 100 年の日本家屋をリノベーションし、古き良き時代の建築物を保管しつつ使用しています。オフィスはもちろん自宅にも自然エネルギーのみんな電力を使用するなど、環境にやさしく資源を守ることにできる限り貢献しています。
- ・ 自社売り上げの一部の国際 NGO「プランインターナショナル」への寄付を会社立ち上げ時より継続しています。

野口アヤからの Message

「私は自然の中で過ごすこと、そしてもちろんファッションが大好きです。ですがそれと同時に、簡単に作ったモノが大量に消費され破棄され続けていること、それが人々の価値観を狂わせ、自然に重大な影響を及ぼしていることに対しての違和感を感じてきました。今や全世界でファッション産業が及ぼす地球温暖化と環境破壊が問題となっています。

学生の頃からのヴィンテージ好きも手伝って、17年ほど前より自身のブランドでは、ヴィンテージの取り扱い、オーガニックコットンの使用やフェアトレード生産への参加など、部分的には取り組んでいましたが、それまで続けてきた量産型の規模のブランドビジネスを一旦やめ、これから私ができること、するべき仕事をもう一度考えました。

その答えの一つは、アートと関わる事。アートは大量生産でない美しいメッセージです。美術大学でファッションとアートの勉強をしていた私は、いつかアートの仕事もしたいと心のどこかでいつも考えていました。そしてブランドを閉じた約4年程前から、古民家リノベーションのアートギャラリー運営をする機会を得ました。

そしてもう一つは、これからの私がするべきクリエイション。20年以上何らかの形で服作りをしてきた私は、単なるファッションブランドではなく、キャリアも活かしつつ自分なりのメッセージ性のあるデザインで、夢のあるもの作りをするべきだと。何気なくも大事な日常から沢山のインスピレーションをもらっていることを改めて振り返ってみて、手に取る人も私自身も感動できる、じっくり時間をかけた丁寧さと、できる限り自然の循環を大切にする物づくりに向き合いたいと思い、それがこのレーベルの立ち上げになりました。

ーデザインにじっくり時間をかけたアートに近い丁寧なクリエイションで、簡単に流行を追っただけの最後にいらなくなるような無駄なもの作りはしない。できるだけオーガニックで長く着ることができる上質な素材を使い、社会や自然や人々にできるだけ配慮し、なるべく全てに関わることでできる小さな規模でのもの作りをする。それは手に取る人を幸せにするための夢のあるデザインに時間をかけ、愛を注ぐこと。そして、そういった素材やアイテムが持つ見えないエネルギーをも纏う心地良さと美しさ、アップサイクルやオーガニックなどのサステナビリティはもちろん、大切にデザインされ作られた物の持つ前向きさー

すべては小さな動きからとはなりますが、心地よい未来も考えたこのクリエイションで、手に取っていただける方々はもちろん、私達みんなが心から豊かな気持ちになれて、楽しく、美しくなることを願います。」

野口アヤ

野口アヤ：東京都出身。武蔵野美術大学卒業。企業デザイナーを経て2000年に独立後、夫と共に自身のブランドを運営。2017年秋、20年以上続けたデザイナー活動を一旦終了させ、そのショップであった築90年の日本家屋をアートギャラリーとして改装オープン、経営とディレクションを始め現在に至る。2019年より ayanoguchiaya スタート。